

スマート農業技術活用促進法の概要

- 第213回通常国会において、「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律」（スマート農業技術活用促進法）が成立し、令和6年10月1日に施行。
- 本法の認定を受けたスタートアップ等に対し、農研機構の研究開発設備等の供用や金融、税制の特例措置等により、スマート農業技術を活用した農業機械等の開発・供給の取組を支援。

農林水産大臣（基本方針の策定・公表）

【法第6条】

（生産方式革新事業活動や開発供給事業の促進の意義及び目標、その実施に関する基本的な事項 等）

↑ 申請 ↓ 認定

① 生産方式革新実施計画

【生産方式革新事業活動の内容】

- ・スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入をセットで相当規模で行い、農業の生産性を相当程度向上させる事業活動

【申請者】

農業者又はその組織する団体
（スマート農業技術活用サービス事業者や食品等事業者が行う措置を計画に含めることが可能）

【支援措置】

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・行政手続の簡素化等（ドローン等の飛行許可・承認等）
- ・設備投資に係る法人税等の特別償却

【その他】

- ・計画の認定を受けた者等に対し、R6補正の予算事業で優遇措置を設定

↑ 申請 ↓ 認定

② 開発供給実施計画

【開発供給事業の内容】

- ・農業において特に必要性が高いと認められるスマート農業技術等の開発及び当該スマート農業技術等を活用した農業機械等又はスマート農業技術活用サービスの供給を一体的に行う事業

【申請者】

- ・開発供給事業を行おうとする者
（スタートアップ、農機メーカー、サービス事業者、大学、公設試等）

【支援措置】

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・農研機構の研究開発設備等の供用等
- ・行政手続の簡素化等（ドローン等の飛行許可等）
- ・会社の設立等に伴う登録免許税の軽減

【その他】

- ・計画の認定を受けた者等に対し、スマート農業技術開発・供給加速化緊急総合対策（R6補正）をはじめとする予算事業において、優先採択等の優遇措置を設定

【スタートアップの取組例】

① スマートグラス用
農作業補助アプリの開発



② 開発した①を搭載した
スマートグラスの
レンタルサービスの提供



推奨機材のレンタルサービス

株式会社Root（ルート）

<取組概要>

スマートグラス用農作業補助アプリの開発とアプリ搭載グラスのレンタルサービスの提供

<活用する支援措置>

日本政策金融公庫の長期低利融資

<開発技術のイメージ>



畝立てなどに必要な平行直線ガイドを圃場に表示



仮想の畝を表示し、畝の本数や株数のシミュレーション

株式会社アクト・ノード

<取組概要>

かんきつの栽培における気象や樹体の状況に即した灌水・施肥を最適化するシステムの開発・供給

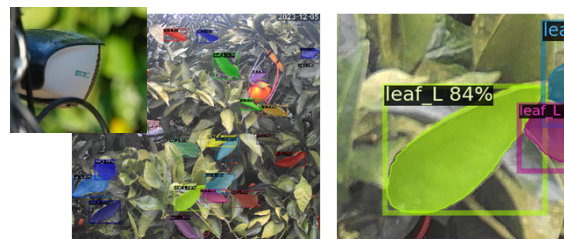
<活用する支援措置>

登録免許税の軽減

<開発技術のイメージ>



センサーによる栽培環境センシング



AIカメラにより果樹の状況を測定

株式会社 NTT e-Drone Technology

<取組概要>

傾斜地のかんきつ栽培に対応可能な国産大型ドローンの開発・供給

<活用する支援措置>

農研機構の研究開発設備等の供用

<開発技術のイメージ>



※写真は販売しているNTT e-Drone TechnologyのAC101 connect

農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業

スタートアップと実需者をつなぐ「フェーズ3 基金事業マッチングカンファレンス」の開催

- フェーズ3 基金事業（農林水産・食品分野：467億円）の採択スタートアップのプロジェクト成果の円滑な社会実装を促進する観点から、大企業、VC、金融機関等とのマッチング機会を創出することを目的として、12/26に農林水産省庁舎内にて開催。
- 採択全38プロジェクトのうち約30社がブースを設け、対面で来場者と意見交換を行うとともに、ピッチイベントに登壇。

【開催概要】

- ・ 会場：農林水産省 講堂（展示ブース）
第1会議室（ピッチイベント）
- ・ 日時：令和6年12月26日(木)14:00-18:00
- ・ 参加SU数：約30社
- ・ 外部来場者数：約250名
（大企業、VC、CVC、金融機関、法律事務所等）
- ・ ピッチイベントへのオンライン参加者数：約300名

【出展したスタートアップの声】

- ・ 大企業やVCなど、多くの方と意見交換ができて有意義だった。
- ・ 将来につながりそうな意見交換ができたので、ぜひまた開催して欲しい。
- ・ 他のスタートアップと交流できてよかった。
- ・ 農林水産省の担当者と制度上の情報交換ができて、今後どのような対応が必要か知ることができた。

【来場者の声】

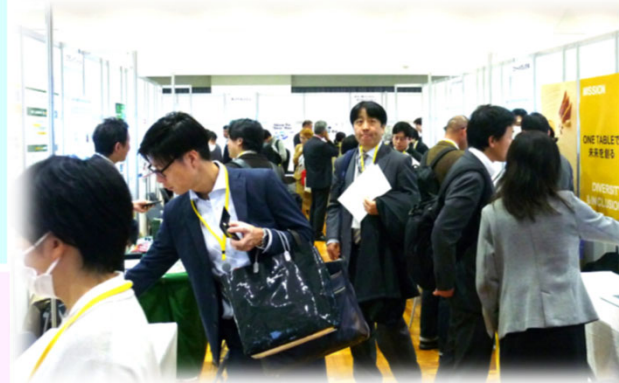
- ・ 当社でもスタートアップへの投資を始めており、情報収集に来場した。
（大手精密機器メーカー）
- ・ 当社でも独自のピッチイベント主催などスタートアップ支援をしており、機会があれば農林水産省ともタイアップを考えたい。（大手証券会社）
- ・ 農業・畜産経営者からの相談が増え、企業等とのマッチングが必要となっており、貴重な機会を得たことに感謝。（大手農機具メーカー）



◀ ピッチ会場は常に満員



▲ 説明を受けながら試食する山本政務官



▲ マッチング会場も大盛況



じっくり話を聞き、商談を行う場面も▶